

旧県立野津高校跡地利活用事業について

臼杵市財務経営課

（旧野津高校跡地利活用の経過）

臼杵市では大分県立野津高校が閉校になる平成25年度から跡地活用に関する検討をスタートさせました。その後、平成28年3月に「野津地域の振興の拠点や地元の雇用を創出する活用」を基本方針に譲渡を要望し、大分県に提出しました。その後、令和2年3月に跡地を取得しました。

利活用にあたっては、地域や商工、農業関連の各種団体や地域づくりに取り組む方々にも意見を伺い、具体的活用方法を検討する中で、公共利用だけでなく、民間活力も取り入れる方針とし、普通教室棟は民間事業者による事業提案を公募したうえで、令和2年11月株式会社NEXT FARMを利活用事業者と正式決定し、令和4年9月には同社による「大分プラス学園」がオープンしました。

（事業停止以降の経過）

同社は、本年2月19日付けで、経営不振を理由に突然事業を停止しました。

このことについて、市に対し、同社から事前の相談や報告は一切なく、市が把握したのは、翌日の2月20日でした。加えて、令和4年11月から施設の共益費等が未納であったため、督促を行っていました。

こうした状況から、共益費等の滞納(133 万円)、今回の事業停止を踏まえ、事業の再開の意思がないものと判断し、2月28日をもって同社との賃貸借契約を解除しました。

（市による事業費）

旧野津高校跡地の取得とこれまでの整備費用は以下のとおりです。これは、跡地が将来に渡って様々な利活用が可能となるよう整備を行った経費です。

- ① 購入費 42,601千円（旧野津町寄贈分を除く土地及び建物の購入）
- ② 解体費 102,886千円（管理棟、特別教室棟、部室等）
- ③ 改修費 258,488千円（普通教室棟の廊下、トイレ、電気設備、屋上防水、駐車場等共用部分）

市事業費の総額 403,975千円

（事業者による事業費）

利活用事業者である株式会社NEXT FARM(代表取締役 玖須一樹)が使用する普通教室棟内等の整備費用(教室内の内装改修、各部屋の電気設備、空調設備、厨房設備など)は、事業者自らが負担し、整備しています。

事業費:約2億円(事業計画書より)